

2008年度

学部横断型教育プログラム

ジェロントロジー

の全体像

2008年 10月 8日

「高齢社会の社会システムと生活環境」初回

総括プロジェクト機構ジェロントロジー寄付研究部門

秋山 弘子

東京大学総合リサーチセンター | ジェロントロジー寄付研究部門

www.gerontology.jp
edu.gero@po.u-tokyo.ac.jp

学術振興会 研究費助成事業

プログラムのねらい

「ジェロントロジー」とは、高齢者や高齢社会の諸課題を解決するために生まれた学際的学問です。医学、理学、工学、法学、経済学、教育学、心理学などの幅広い領域を包含します。

2015年には4人に1人が65歳以上という超高齢社会を迎える日本では、専門分化した学問だけでは対応が難しい複雑な問題が生じてきています。

ジェロントロジーを学ぶことは、将来どの専門領域に進む上でも非常に有用です。

あらゆる分野を目指す学生の参加を歓迎します。

プログラムの対象および参加方法

対象

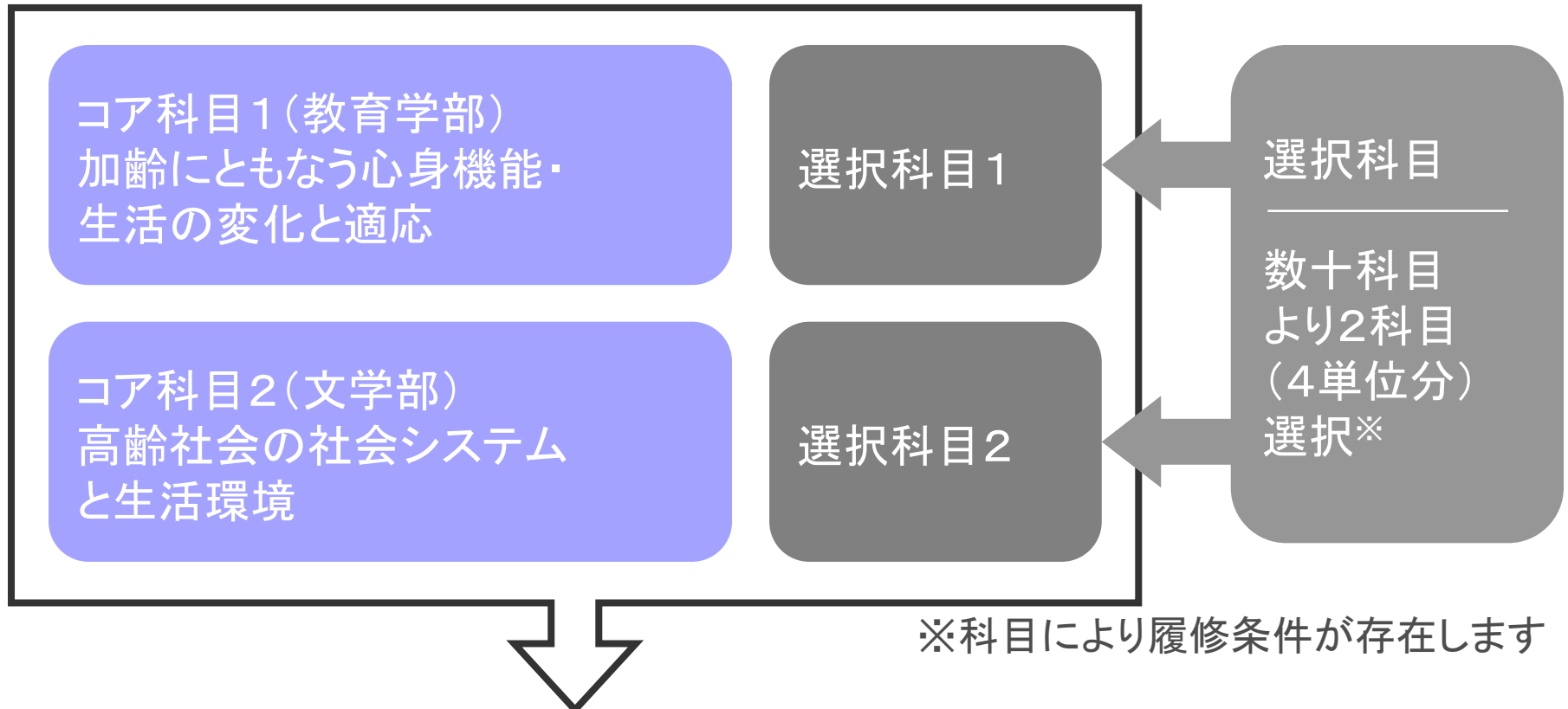
学部3～4年生および大学院生（修士課程および一部の研究科の博士課程）

※大学院生は、各研究科規則の定められた範囲において、指導教員や専攻長の許可を得て、学部科目を履修単位とすることができます。

参加方法

コア科目・選択科目ともに、所属学部の教務にて通常通り履修登録の手続きを行ってください。所属学部以外の科目については、他学部履修の手続きを行ってください。計8単位分の単位を取得した後、成績証明をジェロントロジー寄付研究部門までお持ちください。

プログラムの構成



- 履修単位の付与 (各学部)
- 修了証の付与 (ジェロントロジー寄付研究部門)

コア科目

コア科目1

夏学期開講 教育学部 教育心理学特殊講義

加齢にともなう心身機能・生活の変化と適応

時限 木曜5限（16:50～18:30）

責任教員 南風原 朝和, 武藤 芳照, 遠藤 利彦

コア科目2（本科目）

冬学期開講 文学部 社会学特殊講義

高齢社会の社会システムと生活環境

時限 水曜5限（16:50～18:30）

責任教員 武川 正吾

選択科目

一覧（今年度8学部計41科目）

- 医学部：
 - 人間心理学
 - 健康社会学
 - 医療倫理学
 - 精神保健学
 - 健康教育
 - 人口学
 - 疾病論Ⅰ
 - 疾病論Ⅱ
 - 人間発達学
 - 保健福祉行政Ⅰ
 - 保健福祉行政Ⅱ
 - 人間・社会関係論
 - 健康増進科学
 - 社会福祉・社会保障論
 - 老年看護学
 - 地域看護学
 - 在宅看護論
- 文学部：
 - グローバル化と個人化のなかの福祉国家
 - 少子高齢社会のみかた
 - 死ぬ権利
 - 家族とライフコースの社会学
 - 死生学の諸問題
 - 臨床死生学と臨床倫理学
 - ケアと医療の社会学
 - 死と死にゆくことの社会学
- 法学部：
 - 労働経済
 - 社会保障法
 - 都市行政学
 - 信託法
 - 医事法
- 教育学部：
 - 生涯学習論演習Ⅰ
 - 生涯学習論演習Ⅱ
 - 生涯学習とメディア
- 工学部：
 - 公共経営学
 - 都市社会論
 - 福祉工学
- 理学部：
 - 人口学
- 農学部：
 - 食品生化学
- 経済学部：
 - 労働経済

選択科目

位置づけ

- 各学部の専門科目の中で、ジェロントロジーと関連する、あるいはジェロントロジーへの応用がしやすいと思われる内容を扱った科目を選出しています。
- 受講生の実質的な負担を考慮すると、基本的には所属学部の科目を選択科目として履修することを推奨します。
(但し、現状では2科目以上の選択科目が存在しない学部もありますので、その場合には適宜他学部履修を組み合わせ受講してください。)
- 選択科目の中には、教室の定員等の関係で、他学部生の受け入れが物理的に困難である科目もあります。詳しい履修条件は本教育プログラムのホームページを参照してください。

2008年度冬学期開講

社会学特殊講義

高齢社会の 社会システムと生活環境

各回のテーマおよび成績評価について

2008年 10月 8日

人文社会系研究科 武川 正吾

各回の担当教員およびテーマ

- (1) 10/8 秋山弘子（ジェロントロジー寄付研究部門）
イントロダクション
- (2) 10/15 白波瀬佐和子（文学部）
人口統計
- (3) 10/22 濱口桂一郎（労働政策研究・研修機構 ゲスト
スピーカー）
雇用政策
- (4) 10/29 岩本康志（経済学部）
年金・税制
- (5) 11/5 武川正吾（文学部）
介護・福祉
- (6) 11/12 武川正吾（文学部）
地域福祉

各回の担当教員およびテーマ

- (7) 11/19 甲斐一郎 (医学部)
保健・医療
- (8) 11/26 大原一興 (横浜国立大学 ゲストスピーカー)
住宅政策・街づくり
- (9) 12/3 樋口範雄 (法学部)
高齢者関連法
- (10) 12/10 井口高志 (信州大学 ゲストスピーカー)
家族介護・施設介護の臨床
- (11) 1/14 鎌田実 (工学部)
居住環境・移動手段
- (12) 1/21 伊福部達 (先端科学技術センター)
福祉機器の開発と利用
- (13) 1/28 秋山弘子 (ジェロントロジー寄付研究部門)
見学・ヒアリング予定 (日程変更の可能性有)

授業の評価方法

(1) 出席状況 50%

(2) レポート 50%

レポートテーマ： 後日提示

問い合わせ先

この授業や教育プログラムについて質問がある人や、
ジェロントロジーに興味がある人は...

総括プロジェクト機構ジェロントロジー寄付研究部門
(教育プログラム担当)

電話： 03-5841-1663

メール：edu@gero.dpc.u-tokyo.ac.jp

URL：<http://www.gerontology.jp/edu/>